

こんな活動です

そだてよう 手をとりあって 中川っ子のための学校応援団

秋田県仙北市

活動名

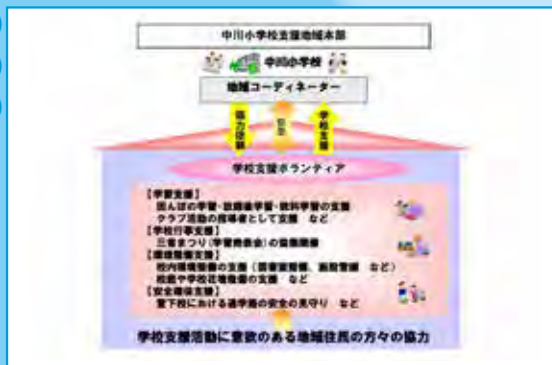
中川小学校支援地域本部

関係する学校名

中川小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 101人	学習支援 有	開始年度 22年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

体制図



活動の概要 平成22年、地域の教育力の低下が指摘、懸念される中、地域に潜在する教育力を学校支援に生かすべく、学校と地域の連携体制を構築した。その中で、多様な形態の教育支援を可能とし、児童と向き合う時間の拡充を図るべく本事業を開始した。

経緯 以来、本事業の地域内住民への普及啓発活動、学校支援ボランティア募集に係る広報活動、人材バンクの作成等を経て、学習や体験活動の支援、環境整備等、多様な学校支援活動を実施し、継続中である。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・田んぼの学習支援「ニコニコ米栽培・販売」
地域の農家やボランティア、保育園等との協力により、全校田植え・稲刈りやパック詰めを実施。また、秋田市（隔年で東京）に児童たちが出かけ、店頭販売を実施
- ・放課後学習支援「まなびー教室」
児童が自ら進んで学ぶ機会及び基礎・基本の定着を図る機会とすべく、5月～12月の間に月1回（夏休み中は2回）開講
- ・伝統芸能継承支援「三省タイム」（民謡、手踊り）
4年生以上の児童で構成し、教育課程のクラブ活動として実施
- ・地域と合同で行う学習発表会「三省まつり」
児童の学習成果の発表とともに、地域住民の活動成果の発表や、相互交流の場となっている。

【実施に当たっての工夫】

- ・本事業が7年にわたり継続し、年々活発化してきたのは、核となるコーディネーターの充実した活動の賜物と言える。登録ボランティアとの連絡、調整、手配がきめ細かく充実していること、学校との密接な連携体制が事業成功のかぎとなっている。
- ・本事業を支えるのは「豊富な地域人材」である。100人超の登録者とネットワークを形成し、維持する上で、PTA組織の「地区委員」を活用している。また、登録ボランティアは全員が何らかの活動に参加している。
- ・市の地域活性化事業による「中川地域運営体」をはじめとして、社会福祉団体、商工業団体等、諸団体との連携体制を構築している。
- ・活動の様子を、学校公式ブログ、学校ホームページ、学校報等を使って、随時発信している。

● 事業を実施しての効果・成果

- (1) 子供たちにとっての効果・成果
 - ・学力の向上
 - ・コミュニケーション能力の向上
 - ・地域への理解度、関心度の高まり
- (2) 学校にとっての効果・成果
 - ・教員が授業や生徒指導などにより力を傾注できる環境
 - ・生徒指導上の課題解決
- (3) 地域住民にとっての効果・成果
 - ・地域教育力の向上、地域の活性化
 - ・地域住民の生きがいづくりや自己実現
 - ・地域住民自身が地域課題の解決方法を探ろうとする意識付け

● その他

- ・本事業も7年経ち、2人のコーディネーターも60代となるなど、組織全体が高齢化してきており、支援者の若返り拡充が求められる。
- ・今後の展望として、学習支援の充実を図りたい。現在、改訂が進められている新指導要領において、「アクティブ・ラーニング」「英語教育」「道徳教育」がキーワードとなる。これに合わせ、ICT活用支援を含めて人材の発掘に努め、次代の教育に対応できる学校支援地域本部にしていきたい。



田んぼの学習支援
「ニコニコ米栽培」



放課後学習支援
「まなびー教室」